

桑員

まちのかわら版

第 105 号

平成 31 年 4 月 1 日発行



こんにちは、『まちのかわらばん 2019 年春特大号』をお届けします。

たくさんの皆さまの応援をいただいて、「市民活動応援☆きらきら基金プロジェクトシーズン7」(平成 30 年 6 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)も、無事終了することができました。ありがとうございました。

今シーズンは、9 団体 4 事業 2 高校に、合計で 330,800 円を助成することができました。その助成のための原資として今期は、109 口 196,819 円ものご寄附をいただきました。この結果、このまちの身近な市民活動に、これまでの 7 年間の累計で、3 大賞・104 団体(延べ)・32 事業・4 高校(延べ)に、合計 3,388,900 円の応援を届けることができました。皆さまのおかげです。ありがとうございました。

2/9 市民活動応援☆きらきら基金第 11 回助成事業の簡単な報告と御礼

2 月 9 日(土)に行った、市民活動応援☆きらきら基金 第 11 回助成事業 第 6 回企業社会貢献発表を開催しました。記帳いただいた方だけで 103 名の皆様が、くわなメディアライブに来てくれました。

当日参加いただいたみなさま、きらきら基金へご寄付でご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。会場をお貸しいただいた桑名市市民活動センターの方には、下見からいろいろとお世話かけました。いなべ総合学園高校の生徒さんも会場準備からお手伝いいただきました。企業、団体の方々も早くからお手伝いいただきました。お忙しい中、ありがとうございました。また、お昼のおにぎりをご準備いただきました瑞宝さんにも感謝いたします。



当基金代表の小笠原まき子よりご挨拶と、代読となりましたが桑名市長の伊藤 徳宇さまより市民活動応援☆きらきら基金と市民活動へのエールをいただきスタートしました。

団体助成のプレゼンでは各団体 3 分間、寄付投票をされる方達に向けて自団体の活動のアピールをしました。

<p>(子ども)</p> <p>おさんぼの会ててて</p> <p>週 1 回いなべ市の自然の中おさんぼを楽しんでいる。</p>	<p>(子ども)</p> <p>発達支援・子育てサポートこのて</p> <p>医療ケア児とその保護者を対象に座談会や保護者同士の交流、情報発信などをしながら、子どもたちが過ごす場を作っている。</p>	<p>(安心安全)</p> <p>わんわんパトロール</p> <p>「くわな歩ワン官」</p> <p>60 組の飼い主とわんちゃんが防犯活動に参加し、ペットでも地域に役に立つことをアピール。</p>	<p>(外国人)</p> <p>ASANTE SANA</p> <p>日本語を学びたい外国人のための日本語教室で「日本に来てよかったな」と思える経験が出来るよう活動している。また、外国人の防災の活動もしている。</p>
<p>(環境)</p> <p>おもちゃ病院くわな</p> <p>おもちゃを直す活動を 22 年されていて、おもちゃを物を大切にすることを伝えたい。また、一緒に活動したい人も募集中。</p>	<p>(環境)</p> <p>いなべ自然楽校</p> <p>いなべ市内に眠っている木材資源を活用して物づくりをしている。木材を通して資源と人材をつなぐ活動をしている。</p>	<p>(子ども)</p> <p>子育てわかば会</p> <p>城南地区で毎月食事をしたりイベントを開催して地域の子どもたちと保護者の交流を深めている。</p>	<p>市民活動応援☆</p> <p>きらきら基金</p> <p>これまでの助成事業や寄付のお願いをアピール。</p>

企業社会貢献発表では、展示は 26 社にご協力いただき、そのうちの 3 つの企業や団体から地域貢献活動についてプレゼンを、4 社から簡単なアピールをいただきました。

<p>(株)百五銀行</p> <p>企業として社会課題の解決を目指しており、また、地域社会を持続可能にしていくために SDGs を指針として活用している。</p>	<p>寺町通り商店街</p> <p>5 月の子どもの体験フェアや 12 月にはきらきら基金の「サンタの行進」に参画。</p>	<p>桑名商工会議所女性部</p> <p>会員は 85 名。経営の向上だけではなく、地域活性化・社会福祉の活性を目指し他地域とも交流を進めながら活動をされている。</p>
--	---	--

<p>(株)きもと三重工場</p> <p>農業を CSR として活用。耕作放棄地にて稲作や昨年からはダリアの栽培を始め、秋にはダリア畑を開放している。</p>	<p>(株)デンソー大安製作所</p> <p>社員のみなさんがボランティアに参画しているデンソーハートフルクラブの紹介。多くの方が退職してからも地域で活躍されている。</p>	<p>(株)三重銀行</p> <p>NPO 応援基金として 2018 年度は総額 100 万円を 19 団体に寄付を行った。</p>	<p>(株)ほくせい</p> <p>毎年チャリティイベントや人形供養をして地域貢献をしている。</p>
--	--	---	--

最後に三十三総研の先浦さまより、

「百五銀行さんは、この地域で先駆的にSDGsを経営指針に取り入れ、地域の中の課題を掘り起こし、異セクターとのネットワークで地域活性化を地域と一緒に考えることを実践している。」

「寺町通り商店街さんは、毎月イベントを行い、全国的にも元気な商店街として評価されている。」

「桑名商工会女性部さんは、この地域はロードネットワークが広がり、交流人口、関係人口が増えてくるので、大垣商工会とも交流のある経済団体として地域活性化のサポートを期待している。」と、各社会貢献活動についての講評をいただきました。

参加者は各団体のプレゼンを聞き、会場の展示を見て参加者は寄付投票をしました。

また、会場ではくるくる募金やガチャポン寄付など気軽に寄付体験に参加していただきました。

セクターを越え、他団体との事業への助成するパートナー事業のプレゼンテーションも行われました。パートナー助成の対象団体は下記の4組です。

★バルーンアートの会ーはなもも会

「膨らませて盛り上げようあげきのおひなさん」

★ガールスカウト三重県連盟第9団ー桑名ハンドメイドの会

「減災に役立つ野外活動体験」

★いのちの言葉プロジェクトー三重県立桑名工業高校

「LEDでいのちのあかりをとます」

★障がい者支援の輪 ののはなー社会福祉法人あじさいの家

「人形劇を鑑賞する会」



また、助成事業に参加した高等学校のみなさんからの発表もいただきました。

★桑名工業高等学校のみなさん 「学校や地域のイベントでの出前事業」

★津田学園高等学校のみなさん 「校外美化清掃活動の実施」

昨年度助成を受けたみなさんから成果発表と特別賞・感謝状の贈呈も行われました。

きらきら基金は「発表する成果に裏付けられた、自由な使い方」を掲げて助成しています。

成果発表団体は

NPO法人ネットワークくわっこ、いのちの言葉プロジェクト、傾聴うさぎの会、おひさまの森ようちえん、はなもも会、シニアカレッジくわな 2018、東員花卉くらぶ、紫陽花倶楽部、バルーンアートの会、子育てサークルさくらんぼ、NPO法人太陽の家、地域トモダチの輪、みんな食堂「このゆびとまれ」、さともしりヴィレッジ、はあぶ工房 Together

きらきら基金特別賞として、東員点訳友の会中村なるみさん、いなべおもちゃ病院さんが受賞しました。また、感謝状贈呈の最後にいなべ総合学園高校の生徒さんから「知らない団体のことを知ることができた」とコメントをいただきました。

そして、寄付投票の集計が終わり助成金の授受を行いました。

最後に、きらきら基金副代表の川島からのご挨拶をさせていただき、当日の様様をスライドショーにしてみなさんで鑑賞しました。

今回の助成事業を行うにあたり、ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

「ありがとうございました」

各団体への助成は下記の通りです。



☆団体助成

おさんぽの会ててて	25,500
発達支援・子育てサポートこのて	24,400
わんわんパトロール隊「くわな歩ワン官」	15,100
ASANTE SANA	21,500
おもちゃ病院くわな	18,500
いなべ自然楽校	25,300
子育てわかば会	23,400
一般社団法人 桔梗	3,000
市民活動応援☆きらきら基金運営委員会	10,100

☆パートナー助成

バルンアートの会	30,000
ガールスカウト三重県連盟第9団	30,000
いのちの言葉プロジェクト	30,000
障がい者支援の輪 ののはな	30,000



(特)みえきた市民活動センターは2024年3月30日まで認定更新が決定しました。これからも、市民活動応援☆きらきら基金の応援よろしく願いいたします。

発行元 (特)みえきた市民活動センター

事務局 〒511-0088 桑名市南魚町 86 めがね工房ごうじ内

TEL 0594-27-2700 FAX 0594-27-2733

E-mail info@mie-kita.gr.jp